

## 公社等外郭団体の改革方針（案） 【概要】

番号	団体の名称	団体の概要 (目的、主な事業等)	県の財政的関与 予算(決算)額 (H22は9月補正後予算) (千円)	県の人的関与 県派遣・県OB役職員 (人)	課題	改革方針(案)		担当課
						分類	概要	
6	東葉高速鉄道(株)	船橋市、八千代市の沿線住民の都心方面への通勤・通学等の交通アクセスの向上を図るため、以下の事業を実施している。 ・鉄道による一般運輸業 ・不動産業及び建設業 ・旅行業及び広告業 など	H20: 953,016 H21: 962,243 H22:1,577,745  【H22の内訳】 ・出資金 1,460,000 ・利子補給金 117,745	県派遣: 1名 県OB: 3名	・償還残高が膨大であることから、金利動向により経営状況が大きく左右されるため、今後、金利が大きく上昇する局面を迎えた場合には、第二次支援期間においても資金不足を招くおそれがある。	経営改善	・支援関係者(国、県、船橋市、八千代市、東京地下鉄(株))による財政的支援を着実に実行しながら、「東葉高速自立支援委員会」における検証や長期経営計画のローリングを通じて、引き続き課題の解決等に機動的に対応していく。 ・「東葉高速自立支援委員会」では、支援期間終了後の会社の収支見通し等について見極めを行うとともに、会社の自立が困難であると考えられる場合には、新たな支援策等について抜本的な見直しを検討する。 ・会社においては、H21年度に第4次経営改善計画を策定し、安全輸送の確保等を行いながら、徹底した経費の削減を図ることとしている。なお、将来の利払いによる負担を軽減するため、第2次支援期間において出資を財源として総額220億円の元本を繰上償還することとしている。	総合企画部 交通計画課
26	(株)かずさアカデミアパーク	かずさアカデミアパーク立地企業の支援やセンター地区の施設運営を目的に設立され、以下の事業を実施している。 ・かずさアカデミアホールの管理運営 ・立地企業に対する施設管理サービス ・ホテルの運営 ・スポーツクラブの運営	H20: 944,271 H21: 913,148 H22: 528,428  【H22の内訳】 ・指定管理委託料 かずさアカデミアホール (H18~22) 498,000 かずさインキューションセンター (H21~25) 27,258 ・インキュー運営業務 482 ・緑地管理業務 2,020 ・パーク内巡回警備 668	県派遣: 1名 県OB: 1名	平成22年10月の債権者集会で会社の再生計画案が可決され、千葉地裁の認可を得たことから、民営化された後の同社と、かずさアカデミアパーク事業を引き続き推進する県が、新しい形の事業パートナーとしての関係構築に取り組んでいく必要がある。	民営化	民事再生計画の認可・確定を受けて、民営化後の同社の経営が早期に安定するよう可能な範囲で協力していく。	商工労働部 企業立地課
34	千葉県道路公社	幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図るため、有料道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を行う。	H20:1,919,521 H21:1,036,295 H22: 582,365  【H22の内訳】 ・共済費負担金 7,365 ・委託料 575,000	県派遣: 5名 県OB: 1名	・維持管理等について、経費の削減に努めているが、これ以上は安全性に問題がでてくる。 ・人員については、可能な範囲において外部委託等により削減を進めているが、今後の人員の減少に対応した組織の見直しや効率的な業務の執行が必要となる。	経営改善	・事業量に応じた必要人員数の検討及び人員の削減を行う。 平成26年度までを目途に、常勤役員を2名に、県派遣職員を0名にする。 平成21年度から平成23年度までの3か年で、8名を減員する。 ・未償還金の削減に努めるために、更なる経営改善に取り組む。 ・引き続き、経費節減、事務改善及び増収を図る。また、損失補てん金を活用するなどの償還対策を検討する。	県土整備部 道路計画課